

「新しい東北」官民連携推進協議会

**令和6年度
意見交換会(第2回)**

宮城県

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

2024年10月8日

● 第1回意見交換会からの調整状況報告

◆ 第1回意見交換会でいただいた意見を踏まえ、企画内容の調整を実施。

実践の場「STAND OUT 宮城」

<ご意見>

- ・インバウンドの多様性を鑑みたうえでターゲットを設定し、それに合わせたモニターの設定が必要
- ・ツアー造成を目的とするのではなく、既存のコースや観光資源の検証を目的とした方がよいのではないか
- ・参加者はツアーコースを考案するのではなく、県内の観光資源や復興遺跡などからインバウンド向けのコンテンツを選定するのがよいのではないか



◆ インバウンド向け ➡ ● インバウンドのターゲットを設定

- ① アジア圏観光者（モノ消費・短期滞在型）
- ② 欧米豪圏観光者（コト消費・長期滞在型）
- ・観光コンテンツを各ターゲット層向けに分類したうえで、実際に現地を確認し、検証
- ・ターゲットの滞在期間に合わせて、コンテンツを整理

◆ インバウンド向けのコース考案 ➡ ● 県内の観光資源のコンテンツ検証

- ・多言語化対応が行われているか、コンテンツとして「ウケる」コンテンツかなどの評価軸を設定、ターゲットとなるインバウンドが行きたくなる観光コンテンツなのかを検証

● 第1回意見交換会からの調整状況報告

◆第1回意見交換会でいただいた意見を踏まえ、企画内容の調整を実施。

招待状作成ワークショップ

＜ご意見＞

- ・アウトプットに関しては、紙だけではなくWEB等、デジタルの活用が必要ではないか
- ・拙速すぎない柔軟なスケジュール対応が必要ではないか



◆アウトプット ➡ ●アウトプットの展開先を拡充

＜大阪・関西万博 復興ポータルサイト＞

- ・招待状の閲覧、ダウンロードを可能に
- ・活動の紹介や、リアルイベントと連携して、サイト内にて投票施策を実施

◆スケジュール対応 ➡ ●ワークショップ開催日程を参加者と調整しながら実施

- ・参加団体と、密に連携、柔軟に実施スケジュールを設定

＜第1回意見交換会でのご提案時＞

【目的】

- ・次世代ガイドの育成を目的としたコンテンツの磨き上げ
- ・インバウンド向けモニターツアー構成
- ・大阪・関西万博のツアー商品登録

【開催時期】

2024年12月中旬～2025年1月中旬開催想定
(1日開催)

【開催場所】

宮城復興局 仙台支所想定

【実施内容】

- ①インバウンド向けとする観光コンテンツの評価
- ②インバウンド向けツアーの組み立て

【参加者】

- ・ガイド役：県内学生1～2名、県内外国人1～2名
 - ・モニター役：県内在住外国人30名
 - ・ガイドサポート：観光ボランティア・語り部 1～2名
- ※上記を3チームに構成した活動を想定

＜調整後＞

【目的】

- ・既存観光コンテンツのインバウンドに対する**魅力検証**
- ・コンテンツを観光だけでなく、**まちづくり視点からも検証**
- ・評価内容をまとめ、フィードバックし**アップデートを促進**

【開催時期】

ガイド役参加者のスケジュール要望と調整

※現状候補 2024年11月下旬～12月下旬（1日開催）

【開催場所】

宮城復興局 仙台支所想定

【実施内容】

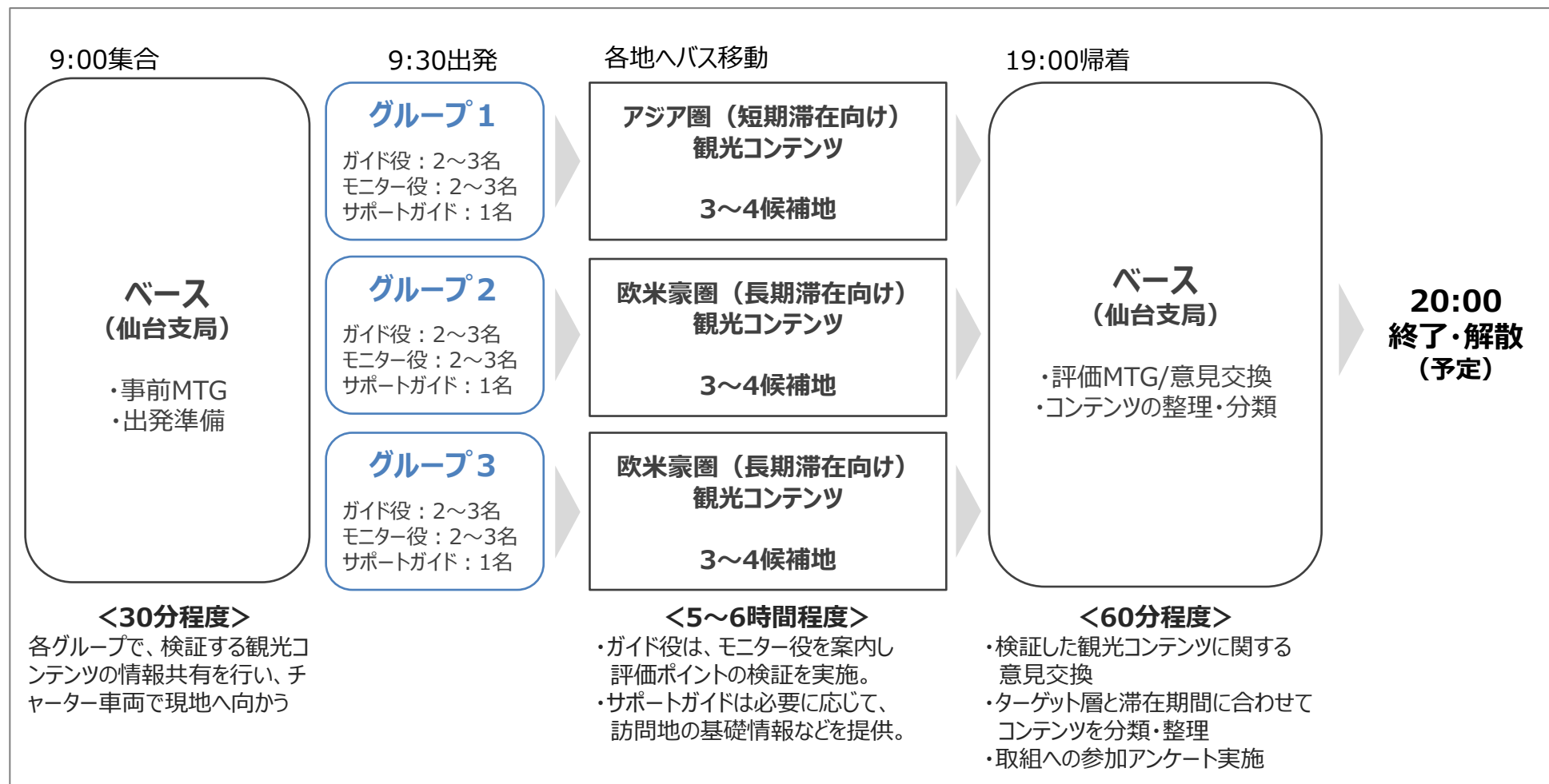
- ①事前ミーティングで選定した観光コンテンツの**検証・評価**
 - ②ターゲット層に合わせた観光コンテンツの分類・整理
- アジア圏向け（短期滞在）/欧米豪圏向け（長期滞在）**

【参加者】※3チーム構成を予定

- ・ガイド役：**県内学生 6～8名**
東北大学 都市・まちづくり研究会 学生（人数調整中）
宮城学院女子大学 現代ビジネス学科生（2名決定）
- ・モニター役：県内外在住外国人 **1チームあたり：2～3人**
仙台国際観光協会へ協力依頼（事前相談済み）
副代表団体へ協力依頼（※本意見交換会にて打診）
モニター登録外国人
- ・ガイドサポート：**3名（読売旅行ガイドスタッフ）**

◆当日スケジュール案

短期向け 1 グループ、長期向けモニター 2 グループ構成で観光コンテンツ検証を実施。
検証後は、コンテンツ評価についての意見交換、ターゲット層に合わせた分類と整理を行う。



検証する観光コンテンツ、参加する人数によってグループの人数設定は変動します。

● 調整後の取組内容

◆「STAND OUT 宮城」【事前ミーティング】

＜第1回意見交換会でのご提案時＞

【目的】

・インバウンド向けモニターツアーコースのベース構成

【開催時期】

2024年11月下旬～12月上旬開催想定
(1日開催)

【開催場所】

宮城復興局 仙台支所想定

【実施内容】

- ① ツアーコースの候補地選定・ベース構成の設定
- ② 宮城県の観光及び復興についての理解向上
※ゲストスピーカー

【参加者】

- ・ガイド役：県内学生9名、県内外国人3名
- ・地元アドバイザー：5名（地域支援活動をしている方）
- ・ゲストスピーカー：1名
- ※復興ツーリズム・県内観光をお話できる方

＜調整後＞

【目的】

・実践の場で検証する観光コンテンツの選定を行う

【開催時期】

ガイド役参加者のスケジュール要望と調整
※現状候補 2024年10月下旬～11月下旬（1日開催）

【開催場所】

宮城復興局 仙台支所想定

【実施内容】

- ① 検証する観光コンテンツを選定
アジア圏向け（短期滞在）/欧米豪圏向け（長期滞在）
※検証するコンテンツは、事務局が用意したコンテンツに加え、参加者からの要望・意見も反映して決定
- ② 評価内容の設定
検証ポイントの絞り込み
- ③ 宮城県の観光及び復興についての理解向上
復興ツーリズム・県内観光をお話できる方からの講話
（ゲストスピーカーへの推薦者を本意見交換会で確認）

【参加者】

- ・ガイド役：県内学生 6～8名
東北大学 都市・まちづくり研究会 学生（人数調整中）
宮城学院女子大学 現代ビジネス学科 学生 2名
- ・ゲストスピーカー：1名

◆当日スケジュール案

開催日程と時間は、参加者要望に合わせて調整を実施。
実施内容は下記をベースに構成。

■進行イメージ

企画趣旨説明
(復興庁担当者)

<10分>

**宮城県の復興
ツーリズム・県内
観光の説明**
(ゲストスピーカー)
<30分>

休憩
<10分>

検証する観光コンテンツの選定

- ・事務局が準備したコンテンツメニューに対する意見交換
 - ・コンテンツメニュー以外で検証したい場所などの要望
 - ・評価ポイントの設定
 - ・検証する観光コンテンツの決定
- ※訪問時のルート設定やグループ分けは、事後に事務局が設定する

<90分>

終了・解散

ゲストスピーカーへの推薦者を
本意見交換会で確認

◆コンテンツメニューのイメージ

宮城県の観光地、震災からの復興を感じることができる候補地を設定。

＜仙台・松島エリア＞
仙台城跡

仙台市街地からアクセスが良く、仙台城の歴史を学べるほか、本丸跡からは市内を一望する眺望が楽しめる。

＜仙台・松島エリア＞
松島さかな市場

松島での観光において欠かせない、新鮮な海産物と豊富な食体験が魅力なスポットで食の魅力に触れる。

＜仙台・松島エリア＞
せんだい3.11メモリアル交流館

津波により大きな被害を受けた仙台市東部沿岸地域において、震災と防災を伝承する施設。震災の深刻さを教え、地域復興への思いを知ることができる。

＜仙台・松島エリア＞
仙台大観音

地上100m、展望窓からは市内が一望でき、萩の月・笹かま等を揃えたお土産施設や食事施設などが楽しめる。

＜気仙沼・南三陸エリア＞
南三陸さんさん商店街

震災前にあった商店を中心に2012年に仮設商店街としてオープン。今は「南三陸311メモリアル」「南三陸ポータルセンター」を始め、地域や交通の拠点として賑わいを見せるエリアを訪れて復興を感じる。

＜気仙沼・南三陸エリア＞
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

被災当時の気仙沼向洋高等学校がそのままの姿で保存され、将来にわたって警鐘を鳴らし続ける「震災遺構」で震災からの復興を感じる。

＜石巻・女川エリア＞
石ノ森漫画館

「仮面ライダー」「サイボーグ-009」など、海外でも人気のある名作が展示されるミュージアム。ファンのみならず、漫画やアニメに興味がある国内外の観光客が楽しめる。

＜石巻・女川エリア＞
Tree Tree Ishinomaki

石巻の新名物「石巻こけし」の絵付け体験をする。「石巻こけし」はアート作品としても評価されていて外国人ファンも多い。

＜第1回意見交換会でのご提案時＞

【タイトル】
・メインタイトル「TOHOKU MOMENT」

【開催時期】
2024年10月～12月開催想定

【参加者】
20名程度を想定

【開催場所】
仙台市内想定

【実施内容】
1回目：候補地の洗い出し・紹介企業や人物のイメージ設定
担当分け
2回目：候補地・企業・人物の決定・文字構成案・ページ
ネーション構成
3回目：文字構成・最終調整（対応言語数調整中・不足
情報は別途取材想定）

【イベント開催時期】
2025年1月中旬～2025年2月上旬の開催想定

＜調整後＞

【タイトル】
・メインタイトルに加え、宮城県の招待状として印象付ける
サブタイトルを設定

【開催時期】
参加者のスケジュール要望で調整
※2024年10月～12月開催想定

【参加者】
多賀城高等学校 生徒 10名程度（予定）

【開催場所】
多賀城高等学校及び、その周辺の施設、オンライン予定

【実施内容】
サブタイトルと表紙の構成を追加

【イベント開催時期】
3県の実施スケジュールを考慮し
2025年2月中旬～2025年2月下旬の開催想定とする

＜主な進行スケジュール＞

- 1回目：候補地の洗い出し・紹介企業や人物のイメージ設定・担当分け
- 2回目：候補地・企業・人物の決定・文字構成案・ページネーション構成
- 3回目：文字構成・最終調整（対応言語数調整中・不足情報は別途取材想定）

※最終構成完了の期日は12月20日を想定



以降、事務局による最終調整

＜事務局による作業＞

- 2025年1月：入稿データ調整・翻訳・イベント用パネルデータ作成
- 2025年2月：入稿データ最終調整・翻訳版入稿データ作成
- 2025年3月：日本語版・英語版 PDF版、冊子版納品



＜大阪・関西万博 会場での活用＞

2025年5月19日～24日 復興庁の出展期間中に会場で配布など

※活用の手法に関しては、現在検討中のため、追って情報共有させていただきます。

◆ 招待状作成ワークショップ【大阪・関西万博 復興ポータルサイトとの連携】

【WS開催状況の報告掲載】 ワークショップ開催の様子を掲載します。（取材等はなく、現地で写真を撮影して紹介します）

【ネット投票の実施】 リアルでの投票に合わせて、ポータルサイト内でも人気投票を実施します。

【完成データの公表】 完成した招待状の冊子を専用ページで公表し、閲覧・ダウンロードできるようにします。

【万博会場での活用】 完成した冊子やデータを復興庁出展期間（2025年5月19日～24日）で活用します。

※活用の手法に関しては、現在検討中のため、追って情報共有させていただきます。

＜実施検討中の内容＞

【100日前イベントへの参加者の登壇】復興庁出展の100日前前後に、福島、宮城、岩手の3県でイベントを実施予定です。

※イベントステージにて、参加者に登壇、招待状の紹介を調整中です。

＜議題①＞

実践の場「STAND OUT宮城」・招待状作成ワークショップ^o 修正内容について

副代表団体のみなさまから、取組に関するご意見ご要望を
お聞かせいただければと思います。

＜議題②＞

来年度の「実践の場」取り組みの進め方に関して

- 実践の場の内容について
- 進め方について
- 全体のスケジュール感について
- 副代表団体と事務局との連携について
- その他ご意見